

令和3年度第1回介護保険運営協議会資料にかかる意見照会結果

意見提出者 : 4名

意見内容 : 15項目

通し 番号	該当ページ	いただいたご意見・ご質問等	ご意見・ご質問等に対する回答
1	22頁 25行目	・第7期における具体的な取組と同様・・・の一文の意味が分かりにくい。	・一枠上（第7期における具体的な取組）に記載している内容に対する目標という意味でこのような書き方をしておりました。
2	22頁 32行目	・委託事業所数は第7期中の数を記載した方がよいのでは。	・取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）は、第7期計画用に平成30年度に作成したシートで、それまでの実績と「新たな相談窓口の開設依頼を継続的に行う。」という目標を記載していました。第8期についてはわかりやすい目標の書き方に努めます。
3	59頁 19行目 66頁 13行目 69頁 18行目	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集いの場の確保 ・コロナ禍の影響による活動制限 ・今後の活動再開に向けた・・・ <p>等々、コロナ禍での実施、実現が困難であった項目についての表記が多いが、コロナ禍の長期化が懸念される中で、コロナ禍での活動例等、今後の計画のなかでは、より具体的な対応策が示されることが必要であると思います。</p> <p>*地域では、地域の集いの場を求める高齢者の声を聴くが、ボランティア活動を再開するには、安全面での不安が大きく、行政の指導（具体的な対策や開催に向けての指標）が必要です。</p>	・地域での集いの場等の活動については、感染対策に関するチラシや自宅でも取り組める体操や口腔、認知機能低下予防のチラシ等を送付し活用いただくよう依頼しています。地域には参集しての活動再開には慎重な意見の方もっていると聞いていますが、ワクチン接種も一定進んだことから、活動再開に向けて支援していきたいと考えています。

通し 番号	該当ページ	いただいたご意見・ご質問等	ご意見・ご質問等に対する回答
4	82頁 19行目	<p>学生へのアプローチ・・・で、<u>親や教師が介護に対し良いイメージをもっておらず、若い世代の就職に繋がらない一因になっている・・・。</u></p> <p>*上記のような一面があるかもしれないが、根拠がはっきりしていないようなら、断定的な表記を避けた方がよいのではないのでしょうか？</p>	<p>・介護事業所の方からそのような声もあると聞いていますが、ご意見のとおり断定的に受け止められる可能性がありますので、修正いたします。</p>
5	22頁	<p>目標②総合相談支援事業の委託事業所数は平成30年度までですか。</p>	<p>・取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）は、第7期計画用に平成30年度に作成したシートで、それまでの実績と「新たな相談窓口の開設依頼を継続的に行う。」という目標を記載していました。第8期についてはわかりやすい目標の書き方に努めます。</p>
6	55頁	<p>目標にH31.3月末までにとありますが、修正が必要なのではありませんか。</p>	<p>・取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）は、第7期計画用に平成30年度に作成したシートとなっています。</p>
7	80頁	<p>介護人材の確保は待ったなしの状況です。現状と課題欄の仮説に賛同です。コロナで介護職などの離職もあると聞きますが、外国の方の雇用など先進地（事業所）事例も含め、継続的長期的な戦略を「介護人材確保・定着促進協議会」などで協議検討いただければと思います。</p>	<p>・国県等の施策の活用や他市町等の取り組みなども参考にし、少しずつでも介護人材の確保ができるよう検討していきます。参考となる取り組みやご意見などありましたらご教示ください。</p>
8	1頁、2頁	<p>認定者数の年次推移を表示するのであれば、数表表示よりもグラフ（折線等）表示の方がわかりやすいと思います。</p>	<p>・次回より工夫いたします。</p>

通し 番号	該当ページ	いただいたご意見・ご質問等	ご意見・ご質問等に対する回答
9	28頁 17行目 55頁 7・8行目 59頁 31行目 35行目 50頁 5行目	P T O T S T 訪問型 A 通所型 A, C C O P D Q O L 認知症ケアパス * アルファベットの略字やカタカナ用語は素人の私には意味が分かりません。欄外に解説していただければありがたいです。	<p>・配慮が足りず申し訳ございません。以下のとおりとなります。</p> <p>P T：理学療法士。運動機能の維持・改善を目的に運動・温熱・電気・水・光線等物理的手段を用いて治療を行う人。</p> <p>O T：作業療法士。日常生活の動作や作業を通して作業療法によりリハビリを指導する人。</p> <p>S T：言語聴覚士。言語障害・音声障害・嚥下障害に対し、機能の維持向上を目的に訓練や検査、助言、援助等を行う人。</p> <p>訪問型 A：人員等を緩和した基準による訪問型のサービス（生活援助等）</p> <p>通所型 A：人員等を緩和した基準による通所型のサービス（ミニデイサービス等）</p> <p>通所型 C：短期集中予防サービス（生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラム）</p> <p>C O P D：慢性閉塞性肺疾患</p> <p>Q O L：生活の質</p> <p>認知症ケアパス：認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れをまとめたもの</p>
10	31頁	<p>「居宅介護支援事業所の実地指導時に介護支援員と意見交換の時間を設ける。」と記載していますが、特に現役の介護者との意見交換の場を設けて頂き、介護生活の切実な悩みや苦しみの生の声をきいていただきケアマネジャーの本来のご活躍を期待します。</p>	<p>・ここでの取り組みについては、保険者等が適切なケアマネジメント支援を行うために、介護支援専門員のニーズや意見を把握することとしています。</p> <p>介護者と介護支援専門員の意見交換については、介護者への支援として、機会の確保に努めていきたいと思っております。</p>

通し 番号	該当ページ	いただいたご意見・ご質問等	ご意見・ご質問等に対する回答
11	40頁	<p>ケアマネジメント支援の取り組みで、ケアマネジャーのスキルアップの手段として研修会や学習会がメインで実施されていますが、この研修会に参加した収穫がどのような成果として業務実績の結果で示されたのか追跡報告が必要かと思えます。研修会の参加回数が業務記録の実績に反映されることを期待します。</p>	<p>・ケアマネジャーに対する研修については、介護保険制度の基本理念である利用者本位、自立支援、公正中立等の理念を徹底し、専門職としての専門性の向上を図ることにより、利用者の自立支援に向けた適切なケアマネジメントの実現に資することを目的としています。ケアマネジャーの業務は多岐に渡り、また要介護者等の状況や課題、社会情勢等は日々変化していくことから、短期間に業務実績から研修の成果を測ることは大変難しいと思われませんが、多忙な中取り組んでいただく研修会等の目的、目標を明確にし、一つ一つ成果を積み上げていただけるよう支援していきます。</p>
12	40頁	<p>ケアマネジャーの資質（スキル）のバラツキとランク区分について伺います。ケアマネジャーは経験の浅い人からベテランの人までスキルのバラつきがありますが、このスキルの平準化はどのように取り組んでおられますか。また、ケアマネジャーのスキル向上の具体策（研修会以外で）とスキルのランクアップの判断基準はどのようになっていますか。</p>	<p>・ケアマネジャーのスキルの平準化に向けては、32-33ページに記載の居宅介護支援事業所へのケアプラン指導や、40-41ページに記載の個別相談や研修会・事例検討会、学習会等を行うとともに、介護給付の適正化の観点から、77-78ページの給付実績と認定情報を突合させたデータからサービスの必要性を確認するヒアリングの実施や、外部講師によるケアプラン点検等を実施しています。要介護者等の状態やそれを取り巻く環境は一人として同じ方は居られないことから、実際に担当された事例と併せて、様々な研修や事例検討を行うことによりスキルアップやスキルの平準化が図れると考えています。なお、ケアマネジャーの資格はスキルによるランク分けはありませんが、一定の経験年数と主任介護支援専門員研修を受講することにより主任ケアマネジャーの資格を取得することができます。</p>

通し 番号	該当ページ	いただいたご意見・ご質問等	ご意見・ご質問等に対する回答
13	51頁	介護激励金の支給事業で介護者への支給要件は？	要介護4・5に認定された高齢者等と生計を同じくされている方で、月15日以上在宅で介護している方に月額5千円を支給します。ただし、介護保険料を滞納していないことが要件です。介護負担が重度の方は1年度で1万円の加算があります。
14	5頁	介護保険施設サービスの介護療養型医療施設が令和元年度実績253から、令和2年度実績72と激減している理由は何ですか。	介護療養型医療施設は2023年度末で廃止することになっており、現在は移行期間となっています。県内では平成30年4月～近江温泉病院、平成31年4月～彦根中央病院、草津総合病院がそれぞれ介護医療院に転換されたため、介護療養型医療施設が減少しています。堅田病院、生田病院が現在も介護療養型医療施設となっています。
15	50頁下から2行目 及び52頁下から4 行目	いずれもここだけ「ですます調」になっているので「である調」に変えてください。	ご指摘ありがとうございます。修正いたします。